

医療福祉技術分科会

※おかげさまでもちまして、本シンポジウムは盛会のうちに終了致しました。御参加御協力戴いたみなさま、ありがとうございました。



「第18回医療福祉技術シンポジウム」

第18回医療福祉技術シンポジウムの開催についてご案内申し上げます。

医療福祉技術分科会は、医療機器・福祉機器の開発に関心のある地域公設試験機関などの公的機関を中心に、様々な領域、立場の方々の御参加を得て、医療・福祉技術の実用化・技術力の向上を目的とした情報の共有と研究連携を行っております。本シンポジウムはその一環としてこれまで毎年東京都内で開催して参りましたが、今年度からは地域における医療福祉技術開発の連携促進をテーマとして、シンポジウムを各地域で開催することになりました。

今年度は仙台を開催地とし東北の活発な連携活動をご紹介いただくことで、東北の活動を全国に知っていただくだけでなく、さらなる連携促進の起爆剤となることを期待します。全国の皆様のご参加をお待ちしております。

なお本シンポジウムについては以下のフェイスブックでもご紹介しております。最新情報については、こちらをご覧ください。

- [医療福祉技術シンポジウム最新情報\(フェイスブック\)](https://www.facebook.com/humanfst.symposium/)
<https://www.facebook.com/humanfst.symposium/>

開催概要

主催：

産業技術連携推進会議 医療福祉技術分科会／(国研)産業技術総合研究所

日時：

2016年9月3日(土)13:30-17:00(交流会 17:30-19:00)

場所：

東北大学片平さくらホール (宮城県仙台市青葉区片平、市営バス「東北大正門前」より徒歩)

参加費：

無料(どなたさまでも参加できます。シンポジウム終了後の交流会は実費となります)

シンポジウム参加申込方法：

8月26日までに、ご連絡ください。

- メールタイトル：
 - 医療福祉技術シンポジウム申込
- メール本文：(以下の内容だけを記載ください。","は半角でお願いします)
 - メールアドレス, 氏名, 所属, 都道府県(所属所在地), 交流会参加の有無

交流会について：

終了後に会場にて有志による交流会を企画しています。食事代の実費をいただきますが、皆様の交流の機会としてご活用いただきたく、ご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

関連研究会

翌日9/4から東北大学青葉山キャンパスでLIFE2016も開催されますので、併せての参加をご検討ください。医療福祉技術分科会も後援しております。

プログラム (2016年8月26日更新)(2016年9月7日資料追加)

- (招待講演)
 - 「医療機器開発の全体コーディネイトを出来る人材の育成 ～革新的な医療機器を東北から世界へ～」
 - 東北大学病院 臨床研究推進センター開発推進部門長 池田 浩治 先生
 - (基調講演)
 - 「広域連携による機会創出とその活用 ～東北におけるOne for all, All for one～」
 - 青森県商工労働部新産業創造課 医療・健康福祉産業創出グループサブマネージャー 東北地域医療機器産業支援ボード座長 中館 洋一 氏
 - (事例紹介1)
 - 「福祉先進国と連携した事業創成」
 - 公益財団法人仙台市産業振興事業団 理事/FWBC推進本部長 吉村 洋 氏
 - 株式会社株式会社トレック 専務取締役 柴崎 健一 氏
 - (事例紹介2)
 - 「ドクター・医療機関との連携をとりつつ開発できた事例」
 - 秋田県産業労働部次長 兼 秋田県産業技術センター副所長 赤上 陽一 氏
 - (事例紹介3)
 - 「TOLIC 東北ライフサイエンス機器クラスター」
 - 株式会社アイカムス・ラボ 代表取締役 片野 圭二 氏
 - パネルディスカッション
 - 分科会からの紹介
 - 「人間生活工学研究会とDHuLE(人間生活工学機器データベース)について」
 - 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 島田 茂伸 氏
- (ご参考) → [DHuLE\(外部リンク\)](#)

ご参考

- [過去のシンポジウム](#)
- [過去の発表タイトル一覧](#)